T&D保険グループ

平成２４年８月１０日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２５年３月期第１四半期決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２５年３月期第１四半期（平成２４年４月１日～平成２４年６月３０日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、１兆９，４５７億円、前年同期から１２．７％の増加。
○**解約失効高**は、１兆４２１億円、前年同期から３．６％の減少。
○**保有契約高**は、５８兆７，８９７億円、前年度末から０．６％の増加。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、７，０３１億円、前年同期から２０．９％の増加。
　うち**保険料等収入**は、５，９９６億円、前年同期から５６．０％の増加。
○**経常利益**は、３００億円、前年同期から４．０％の増加。
○**四半期純利益**は、９２億円、前年同期から１０．０％の減少。

通期業績予想

○**通期業績予想**の修正はありません。

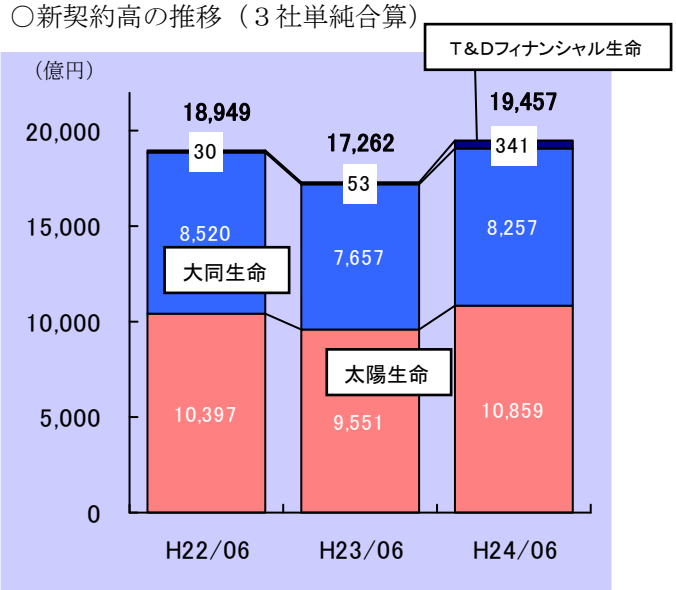
以 上

【お問合せ先】

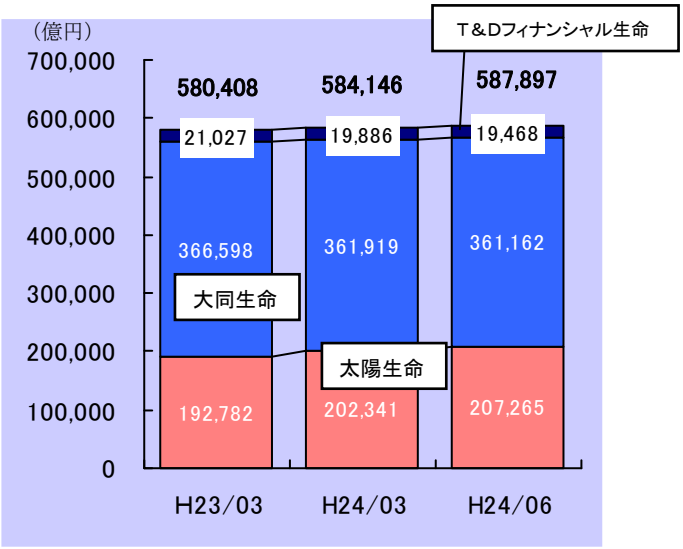
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　今井・松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　西岡　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比
新契約高	19,457	2,194増 (12.7%増)	10,859	1,307増 (13.7%増)	8,257	599増 (7.8%増)	341	287増 (536.4%増)
解約失効高	10,421	383減 (3.6%減)	3,285	218増 (7.1%増)	6,922	610減 (8.1%減)	214	7増 (3.8%増)
（解約失効率）			(1.62%)	(0.03ポイント上昇)	(1.91%)	(0.14ポイント低下)	(1.08%)	(0.10ポイント上昇)
新契約年換算保険料	510	249増 (95.3%増)	313	193増 (160.9%増)	171	33増 (24.1%増)	25	22増 (748.8%増)
うち医療保障・生前給付保障等	36	0増 (0.8%増)	17	3減 (15.2%減)	18	3増 (22.7%増)	－	－ (－)

（注）１．新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
２．解約失効率は、年換算しておりません。

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比	当第１四半期末	前年度末比
保有契約高	587,897	3,750増 (0.6%増)	207,265	4,924増 (2.4%増)	361,162	756減 (0.2%減)	19,468	417減 (2.1%減)
保有契約年換算保険料	14,226	205増 (1.5%増)	6,247	177増 (2.9%増)	6,257	22増 (0.4%増)	1,721	5増 (0.3%増)
うち医療保障・生前給付保障等	1,602	0減 (0.2%減)	1,035	8減 (0.8%減)	526	7増 (1.4%増)	39	1減 (3.1%減)

■　３社単純合算

・**新契約高**は、１兆９，４５７億円、前年同期から１２．７％の増加。
新契約高は、３社ともに増加した。

・**解約失効高**は、１兆４２１億円、前年同期から３．６％の減少。
これは主に、大同生命で減少したため。

・**保有契約高**は、５８兆７，８９７億円、前年度末から０．６％の増加。
これは主に、太陽生命で増加したため。

■　各社の状況

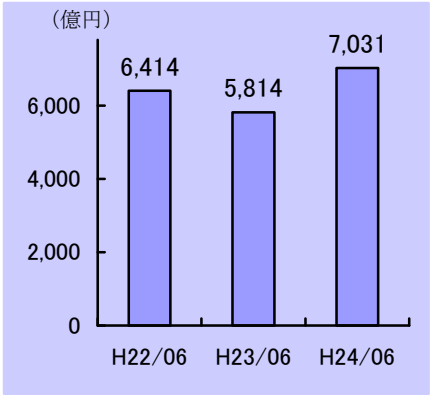
・**太陽生命の新契約高**は、１兆８５９億円、前年同期から１３．７％の増加。
また、保有契約高は、２０兆７，２６５億円、前年度末から２．４％の増加。

・**大同生命の新契約高**は、８，２５７億円、前年同期から７．８％の増加。
なお、主力商品の一つである「Ｊタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額８０８億円を加算した金額でみた場合、９，０６５億円、前年同期から９．８％の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、３６兆５，５８２億円となり、前年度末（３６兆５，５７３億円）から増加。
※　「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。

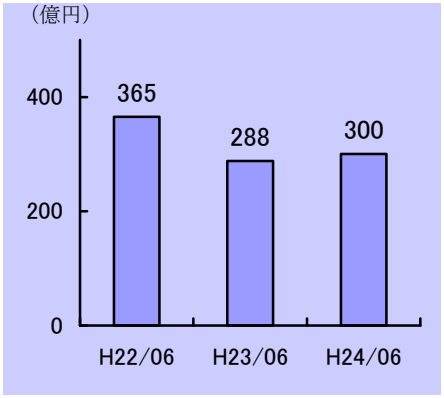
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、３４１億円、前年同期から５３６．４％の増加。
これは主に、「生涯プレミアム・ジャパン（定額終身保険）」の販売による。

［損益関係］

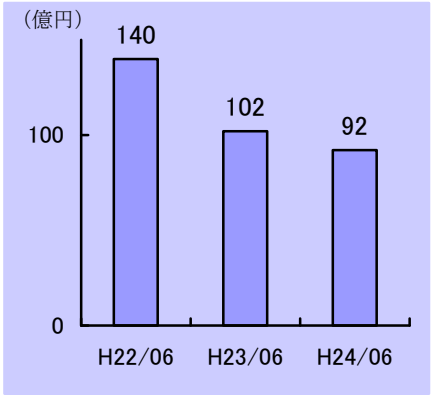
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



（単位：億円）

	T＆Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T＆Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	7,031	1,216 増 (20.9%増)	4,123	1,455 増 (54.5%増)	2,369	419 減 (15.0%減)	555	241 増 (76.9%増)
うち保険料等収入	5,996	2,153 増 (56.0%増)	3,616	1,601 増 (79.5%増)	2,005	270 増 (15.6%増)	372	281 増 (308.0%増)
うち資産運用収益	834	122 増 (17.2%増)	467	58 増 (14.4%増)	307	5 減 (1.9%減)	108	96 増 (794.0%増)
うちその他経常収益	199	1,059 減 (84.1%減)	39	205 減 (83.9%減)	57	683 減 (92.2%減)	74	136 減 (64.7%減)
うち責任準備金戻入額	―	985 減 (100.0%減)	―	175 減 (100.0%減)	―	636 減 (100.0%減)	28	145 減 (83.7%減)
経常費用	6,730	1,205 増 (21.8%増)	3,936	1,396 増 (55.0%増)	2,216	394 減 (15.1%減)	594	259 増 (77.5%増)
うち保険金等支払金	3,601	1,000 減 (21.7%減)	1,884	230 減 (10.9%減)	1,440	763 減 (34.7%減)	275	7 減 (2.6%減)
うち責任準備金繰入額	1,876	1,876 増 (―)	1,554	1,554 増 (―)	349	349 増 (―)	―	― (―)
うち資産運用費用	477	254 増 (114.0%増)	97	3 減 (3.4%減)	137	28 増 (26.4%増)	285	256 増 (904.7%増)
経常利益（△損失）	300	11 増 (4.0%増)	186	58 増 (45.8%増)	153	24 減 (13.9%減)	△39	18 減 (85.5%増)
特別利益	0	0 増 (2,521.9%増)	0	0 増 (―)	0	0 増 (―)	―	― (―)
特別損失	56	15 減 (21.7%減)	36	0 増 (1.0%増)	19	16 減 (45.3%減)	0	0 増 (64.2%増)
契約者配当準備金繰入額（△戻入額）	71	0 減 (1.0%減)	39	0 減 (0.2%減)	32	0 減 (2.1%減)	△0	0 増 (44.3%減)
税引前四半期純利益（損失△）	172	28 増 (19.6%増)	110	58 増 (113.0%増)	102	7 減 (7.0%減)	△39	18 減 (85.6%増)
法人税等合計	79	38 増 (93.9%増)	39	44 増 (―)	48	0 減 (1.7%減)	△10	4 減 (65.4%増)
四半期純利益（△損失）	92	10 減 (10.0%減)	70	13 増 (24.7%増)	53	6 減 (11.3%減)	△29	14 減 (94.2%増)

（参考）

資産運用関係収支（一般勘定）	648	135 増 (26.5%増)	370	62 増 (20.3%増)	180	25 減 (12.2%減)	104	97 増 (1,477.2%増)

（注）１．T＆Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社３社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
２．保険料等収入の３社単純合算は 5,994 億円（前年比 56.1%増）です。
３．資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、７，０３１億円、前年同期から１，２１６億円の増加。
　これは主に、太陽生命の保険料等収入の増加による。
・**経常利益**は、３００億円、前年同期から１１億円の増加。
　これは主に、太陽生命で増加したことによる。
・**四半期純利益**は、９２億円、前年同期から１０億円の減少。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、４，１２３億円、前年同期から５４．５％の増加。
・**保険料等収入**は、３，６１６億円、前年同期から７９．５％の増加。
　これは主に、個人保険・個人年金などの収入保険料が増加したことによる。
・**経常利益**は、１８６億円、前年同期から４５．８％の増加。
　これは主に、有価証券売却損益の増加による。
・**四半期純利益**は、７０億円、前年同期から２４．７％の増加。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、２，３６９億円、前年同期から１５．０％の減少。
・**保険料等収入**は、２，００５億円、前年同期から１５．６％の増加。
　これは主に、個人保険の収入保険料が増加したことによる。
・**経常利益**は、１５３億円、前年同期から１３．９％の減少。
　これは主に、資産運用関係収支(一般勘定)の減少による。
・**四半期純利益**は、５３億円、前年同期から１１．３％の減少。

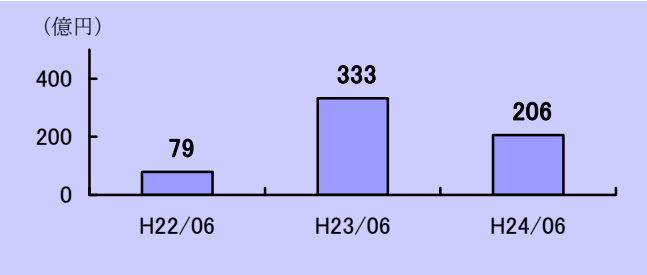
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、５５５億円、前年同期から７６．９％の増加。
・**保険料等収入**は、３７２億円、前年同期から３０８．０％の増加。
　これは主に、新契約高の増加による。
・**経常利益（△損失）**は、△３９億円、前年同期から８５．５％の悪化。
　これは主に、金利の低迷や相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が悪化したため。
・**四半期純利益（△損失）**は、△２９億円、前年同期から９４．２％の悪化。

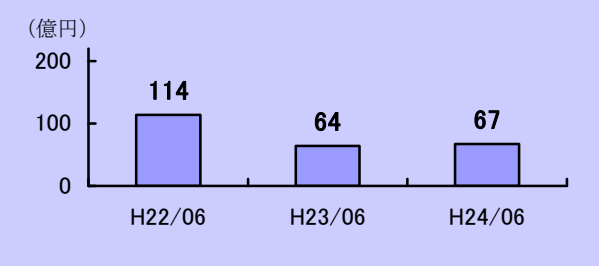
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比	当第１四半期累計	前年同期比
基礎利益	206	126 減 (38.1%減)	130	11 減 (8.3%減)	193	1 増 (0.6%増)	△116	116 減 (約 197 倍)
逆ざや額	67	2 増	28	7 増	32	3 減	6	0 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、２０６億円、前年同期から１２６億円の減少。
これは主に、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命で減少したことによる。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、１３０億円、前年同期から１１億円の減少。
これは主に、前年同期は東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したこと等による。
逆ざや額は、２８億円、前年同期から７億円の増加。
これは主に、基礎利益上の運用収支が減少したこと等による。

・**大同生命の基礎利益**は、１９３億円、前年同期から１億円の増加。
逆ざや額は、３２億円、前年同期から３億円の減少。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、△１１６億円、前年同期から１１６億円の悪化。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が増加したことによる。
逆ざや額は、６億円、前年同期並み。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

（単位：ポイント）

	Ｔ＆Ｄホールディングス		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	―	―	710.3%	37.0 低下	879.0%	27.1 上昇	513.8%	39.9 低下
連結ソルベンシー・マージン比率	803.5%	7.1 低下	721.1%	37.9 低下	885.6%	27.3 上昇	―	―

（注）Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー･マージン比率を表示しておりません。

■Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**連結ソルベンシー・マージン比率**は、８０３．５％、前年度末から７．１ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額の減少等連結ソルベンシー・マージン総額の減少による。

■　各社の状況

・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、７１０．３％、前年度末から３７．０ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額の減少等に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。

・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、８７９．０％、前年度末から２７．１ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益および価格変動準備金の増加等に伴うソルベンシー・マージン総額の増加および資産運用リスクの減少による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、５１３．８％、前年度末から３９．９ポイント低下。
これは主に、相場変動に伴うソルベンシー･マージン総額の減少による。

＜実質純資産（３社単純合算）＞

（単位：億円）

	Ｔ＆Dﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ（連結）		太陽生命（単体）		大同生命（単体）		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命(単体)	
	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減
実質純資産	13,908	130 増	5,787	11 増	6,820	123 増	959	1 減

（注）ＥＶ計算上の修正純資産は、グループが 10,463 億円（前年度末比 97 億円増）、太陽生命が 4,815 億円（同 14 億円増）、大同生命が 4,988 億円（同 84 億円増）、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命が 659 億円（同１億円減）です。

■　**Ｔ＆Ｄホールディングス連結**

・**連結実質純資産**は１兆３，９０８億円、前年度末から１３０億円の増加。
これは主に､有価証券の差損益の増加による。

■　各社の状況

・**太陽生命の実質純資産は、**５，７８７億円、前年度末から１１億円の増加。
これは主に､価格変動準備金の繰り入れによる。

・**大同生命の実質純資産**は、６，８２０億円、前年度末から１２３億円の増加。
これは主に､有価証券の差損益の増加による。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産**は、９５９億円、前年度末から１億円の減少。

＜有価証券差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ&Dフィナンシャル生命	
	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減	当第１四半期末	前年度末増減
有価証券の差損益（一般勘定）	4,035	171 増	2,515	18 増	1,385	128 増	135	24 増
うち公社債	2,814	509 増	1,611	247 増	1,068	237 増	135	24 増
うち株式	604	376 減	322	326 減	282	49 減	－	－
うち外国証券	578	120 増	516	103 増	62	16 増	－	－
うちその他の証券	△120	106 減	△12	18 減	△107	88 減	－	－
うち金銭の信託	△4	2 減	－	－	△4	2 減	－	－
うち買入金銭債権	162	26 増	77	12 増	85	13 増	－	－
土地等の差損益	164	0 増	△6	0 増	171	0 減	－	－

（注）１．有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

［平成２５年３月期通期業績予想］

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

平成 25 年 3 月期の通期業績予想は次のとおりです。（平成 24 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。）

（単位：億円）

	平成２４年３月期実績	平成２５年３月期予想	増減
経常収益	21,041	21,100	58 増 （ 0.3%増）
経常利益	1,208	1,140	68 減 （ 5.7%減）
当期純利益	267	360	92 増 （34.5%増）

１株当たり年間配当金予想は２２．５円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２５年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命
経常収益	11,000 （217 減） （1.9%減）	8,400 （945 減） （10.1%減）	1,900 （703 増） （58.8%増）
経常利益（△損失）	600 （6 減） （1.2%減）	530 （78 減） （12.9%減）	0 （23 増） （－）
当期純利益（△損失）	180 （68 増） （62.1%増）	190 （0 増） （0.2%増）	△10 （26 増） （72.7%減）

（注）括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２５年３月期通期見通し

平成 24 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,280 (169 減) (11.7%減)	550 (25 減) (4.5%減)	650 (174 減) (21.2%減)	80 (31 増) (64.4%増)
保険料等収入	17,800 (896 増) (5.3%増)	9,000 (34 減) (0.4%減)	7,200 (2 減) (0.0%減)	1,600 (933 増) (139.9%増)
逆ざや額	130 (72 減) (35.9%減)	60 (5 減) (8.1%減)	50 (60 減) (54.6%減)	20 (7 減) (26.7%減)
新契約高	66,800 (3,303 増) (5.2%増)	31,300 (2,180 増) (7.5%増)	34,000 (145 増) (0.4%増)	1,500 (977 増) (187.3%増)
保有契約高	588,600 (4,453 増) (0.8%増)	212,000 (9,658 増) (4.8%増)	357,600 (4,319 減) (1.2%減)	19,000 (886 減) (4.5%減)
解約失効率（%）		6.3 (−)	8.1 (0.1 ポイント上昇)	3.8 (0.6 ポイント低下)

（注）１.括弧内は平成２４年３月期からの増減額・率です。

２.新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

３.大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ)」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。(「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。)

新契約高　　：３兆 7,400 億円

保有契約高　：36 兆 4,500 億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以　上